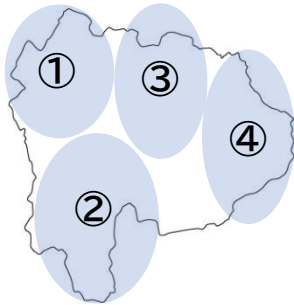


年 組 名前:

問1

レモンの新品種「璃の香」を
特産品にしたいと考えている
地域はどこですか。地域名と
地図の番号を選んでください。

.....地域 []



問2

研修会の参加者は、農研機構の
野中さんから、どのような
アドバイスを受けたか。

.....
.....
.....

問3

新品種「璃の香」の特徴を教えてください。

.....
.....

レモンの新品種 特産に 「璃の香」、市川三郷で研修



レモンの新品種「璃の香」の圃場を
視察する農研機構の担当者(左)
市川三郷町大塚

レモンの新品種「璃の香」を
を峡南地域の特産品にしよう
と、峡南農務事務所などは市
川三郷町内で研修会を開い
た。璃の香を開発した国立研
究開発法人農業・食品産業技
術総合研究機構(農研機構)
の担当者を現地に招き、効果
的な栽培方法について説明を
受けた。

18日に行われ、峡南農務事
務所の職員や生産者など15
人が参加。農研機構の野中圭
介さんが同町大塚の窪田正彦
さん(61)の圃場を訪れ、木や
実の生育状況を視察、実がっ
きやすい樹形や剪定のタイミ
ング、防風対策などをアドバ
イスした。その後、西八代合
同行舎で講習会を開き、先
進事例などを挙げながら栽培
技術を説明した。

窪田さんは「教えてもらっ
た対策を講じ、地域の特産品
にしたい」と感想。野中さん
は「以前視察したときよりも
良い枝や葉となっていた。今
後しっかりと結実していくの
は」と期待を寄せた。

「璃の香」は、皮が薄くて
果汁が多く、かんきつ類が感
染する病気「かいよう病」に
強い新品種。一般的なレモン
に比べて寒さにも強いことか
ら、2018年からレモンを
試験的に栽培している。現在
は、市川三郷町を中心に農家
約20人が生産に取り組んで
いる。

〈穴山菜津美〉

(2022年11月26日付 山梨日日新聞 25面)